

令和3年度第3回「府民運動 雇用応援★夢プラン（仮称）」推進会議

- 1 日時 令和3年11月10日（水） 10:00～11:30
- 2 場所 WEB会議
- 3 出席者 久本座長、廣岡委員、小畑委員、吉見委員、奥野委員、原田委員、中谷委員
オブザーバー：宮田氏、岡田氏（以上9名）
- 4 概要

プラン最終案について、各委員から理解をいただいた。

<主な意見>

【人材育成について】

- ・京都府生涯現役クリエイティブセンターを拠点に、働き、収入を得ながら勉強、学び直しができるように、中小・零細企業への支援をお願いしたい。
- ・企業では仕事の基本事項やコミュニケーション、考える力など社員の能力を高められるような教育のニーズが高く、そのような研修機会を絶え間なく提供することが重要。
- ・DX人材について定義も含めて、企業にとってどのようにプラスとなるのか理解が進むような取組が必要。

【多様な働き方について】

- ・働きたくても正社員の枠で働けない人に適切な場所で働ける機会の提供など、様々な働き方へのサポートが必要。

【女性労働者について】

- ・コロナ禍によって改めて出産や育児でキャリアが途切れてしまう女性の雇用の脆弱性がはっきりとした。
- ・不本意非正規労働者を減らすことに加え、キャリアを途切れさせないことが重要。子育て期間にある女性や家庭、シングルマザー等が仕事と家庭を両立できるよう、テレワークの活用を大きな方向性として検討してほしい。

【若者について】

- ・大学生や高校生など早い段階からの学生のキャリア教育が重要。
- ・小学校から色々な機会を設け府内企業に愛着を持ってもらうこと、また、知ってもらえるようにすることが重要。
- ・京都府内の企業との連携によって、小中学校等早いうちから科学技術や伝統技能・技術等に気軽に触れる機会を創出いただきたい。

【その他】

- ・インターンシップ、障害者、奨学金については、中小企業にスポットをあてて対策を考えることが重要。
- ・事業支援という意味で大学との連携が図れると、中小事業者支援のヒントになる。
- ・学生にとって、京都ジョブパークは失業者を対象としている機関という認識が強い。学生と府内企業を繋いでいく新卒支援にも力を入れていることをもっと周知させることが必要。